

〈研究ノート〉

“経営情報”に関する一考察

石川 弘 道

A Study on “Management Information”

Ishikawa Hiromichi

1. はじめに

1981年4月、「経営情報システム論」担当教員として採用され、以来30年「経営情報システム論」（4単位）、後にセメスター制に伴い「経営情報論（MI：Management Information）」（2単位）と「経営情報システム論（MIS：Management Information System）」（2単位）を担当してきた。当初は、TSS（Time Sharing System）によるCOBOLのプログラミング実習を自主ゼミで行うのが珍しく、卒業論文も手書きであった。その後、ワープロ専用機、パソコンが登場・普及し、現在ではインターネットが当たり前の時代となり、経営情報の授業環境も大きく変化した。そこで教育職を離れるに当たり、あらためて“経営情報”について考究してみたい。

本稿では“経営情報”についての考察として、関連学会および大学における経営情報学部や経営情報学科の現状を通して、「経営情報学」とはいかなる学問であるのかを考えてみる¹。30年以上、教育・研究の対象であった“経営情報”を今この時に考察するのは、教育・研究の第一線から離れる者の最後の務めと考えるからである。

2. 関連学会にみる“経営情報”

わが国で経営情報を主たる研究対象とする学会は2学会ある。それぞれの学会のミッションやビジョンから、“経営情報”を考えてみる。

(1) 一般社団法人経営情報学会（The Japan Society for Management Information）

1992年4月に日本経営情報学会と旧経営情報学会が合併し、経営情報に関する研究の推進と議論

¹ 本稿で取り上げる学会および大学に関する情報はそれぞれの公式ホームページによるが、紙幅の関係から、すべてのURLを省略する。

の場として、経営情報学会が設立された。2001年に示された Mission には、「これからの企業、組織、社会、また個人にとって、情報技術の利用は、ますます重要になっています。しかし、情報技術の開発に比べ、その利用についての理論的研究は十分なされているとは言えません。経営情報学会の使命は、情報やコミュニケーションと経営の接点に関心を持つ研究者、実務家、および教育者に対して、企業、組織、社会、また個人の情報および情報技術の活用に関する対話の場を提供することです。」と述べられている。

さらに、現会長の挨拶においては「既に“情報やコミュニケーションと経営の接点に関心を持つ人々”を対象とするだけでなく、今は特に関心を持っていないが、経営情報学を応用すれば大いにその活動の成果が上がるに違いないような人々・社会・企業・政府などにも積極的に働きかけ、経営情報学の有効性を実証して、一緒に復興に寄与していくことこそが、私達の責務だと言えましょう。」と、経営情報学の応用範囲の拡大が提案されている。

以上からは、情報やコミュニケーションと経営の接点を中心として、企業、組織、社会、また個人の情報および情報技術の活用に関する理論的・実証的研究が経営情報学であると解釈できる。

(2) 日本情報経営学会 (Japan Society for Information and Management)

1979年11月「オフィス・オートメーション」という概念のもとに「まさにオフィスシステムそのものにとどまらず、経営システム、企業システム、そして経営情報システム、社会情報システムなど各種の情報システム現象を理論的・実践的に研究する学際的な場として、すなわち経営学を基軸において学際的な情報システム論的研究」を掲げるわが国最初の学会としてオフィス・オートメーション学会が設立された。しかし、近年の情報化の進展は、より広範な研究を必要とするとの認識により、2007年4月に日本情報経営学会へと名称変更した。会則第2条(目的)において、「情報経営に関する学術の発展を図る」とあり、経営情報ではなく情報経営 (Information and Management) としている。

ビジョンには「企業その他の組織体の健全な発展およびそれら組織体の運営主体である人間の健全な成長発展を研究対象の二軸とする。そして、とくに情報の持つ包括的、連続的、創発的な機能や役割の支援、助力を得て、これら二軸の優れて相補的な関係性の実現に資することを使命とする。・・・学問研究としては、情報システムにかかわる理論と実践、研究と実務、基礎と応用、技術と人間などの有機的相互関係が学際的に展開される。より具体的には、社会科学および人文科学、自然科学との統合理論の構築が指向される。ボーダレス時代を迎えた今日、情報を経営の枠の中で改めて考え直すことの積極的な意味が問われている。非連続的状态や予測不可能な状況の日常化の中で、唯一頼りになるのは、情報のもつ固有の機能、役割である。」とある。

以上からは、情報経営学とは組織体とそこに属す人間を二つの軸とし、社会科学、人文科学、自然科学を統合した情報システムの理論的・実践的研究といえよう。Management Information ではなく Information and Management とし、経営情報に代わり情報経営を用いている点に、“経営情

報”を考えるヒントがあると考える²。

3. 学部・学科にみる“経営情報”

わが国における経営情報学にかかわる学部・学科の開設状況から、“経営情報”を考えてみる。十分に探索したつもりではあるが、抽出できていない大学がある可能性はある。

(1) 経営情報学部に経営情報学科を開設している大学

経営情報学部に経営情報学科を開設している大学は、表1に示す通り11大学ある。そのうち、経営情報学科のみが5大学、経営情報学科プラス1学科が5大学、プラス2学科が1大学である。複数学科における経営情報学科以外の学科名称はすべて異なっており、ここからも、経営情報学部のあり方がかなり多様であることがわかる。そこで、公立2大学と私立2大学を取り上げ、カリキュラム等を概観する。

表1 経営情報学部に経営情報学科を開設している大学

大 学	設置	学 部	学 科
静岡県立大学	公立	経営情報	経営情報
筑波学院大学	私立	経営情報	経営情報
山梨学院大学	私立	経営情報	経営情報
諏訪東京理科大学	私立	経営情報	経営情報
阪南大学	私立	経営情報	経営情報
県立広島大学	公立	経営情報	経営情報、経営
多摩大学	私立	経営情報	経営情報、マネジメントデザイン
新潟経営大学	私立	経営情報	経営情報、スポーツマネジメント
四国大学	私立	経営情報	経営情報、メディア情報
九州情報大学	私立	経営情報	経営情報、情報ネットワーク
中部大学	私立	経営情報	経営情報、経営、経営会計

静岡県立大学経営情報学部（School of Management and Information）では、「ダイナミックに変化する現代組織のニーズに対して情報技術を駆使し、情報を含む経営資源を適切にマネジメントするスキルについて、経営学と情報学の双方の視点から多面的に学びます。」とし、主に「A系列（経営・商・会計・公共政策）」、「M系列（数理統計・モデル）」、「C系列（情報処理・情報通信）」

2 拙稿（2007）「情報経営へのアプローチ—『オフィス・オートメーション』の創刊号に学ぶ—」日本情報経営学会誌、Vol.28、No.1、PP.14～19。および拙稿（2008）「『情報経営』に関する考察」高崎経済大学論集、第50巻第3・4合併号、PP.191～199。において、情報経営に関するラフスケッチを示した。

「複合系列」の4つの系列からカリキュラムを構成している。

県立広島大学経営情報学部 (Faculty of Management and Information Systems) の経営情報学科 (Department of Management Information System) では、「情報科学に関する高度な技術を経営・環境・社会に活用することにより、豊かで快適なデジタル社会の構築を目的とした教育・研究を行っています。」とし、経営科学系、経営情報系、情報処理系を中心に、カリキュラムを構成している。

阪南大学経営情報学部 (Faculty of Management Information) では、経営情報学科 (Department of Management Information) を経営・会計コース (企業経営、会計財務)、マーケティング・e-ビジネスコース (統計マーケティング、グローバルe-ビジネス)、マルチメディア・情報システムコース (マルチメディアネットワーク、システムプログラミング) の3コース6分野としている。

筑波学院大学では、2009年に情報コミュニケーション学部を経営情報学部へ改組、「経営・経済系のカリキュラムを強化し、経営感覚と情報スキルを身につけることで、卒業後すぐにビジネス社会で活躍できる自立した人材を養成します。さらにはマンガやアニメーションのカリキュラム、コンピュータ関連の科目も充実させることで、学びの領域が大きく広がりました。」とし、「経営も、情報も。両方学ぶ、けっこう欲張りな学部」というメッセージの下、経営・経済系 (ビジネス戦略、サービスマネジメント)、メディアデザイン系 (グラフィックデザイン、映像メディア)、システム開発系 (Webデザイン、情報システム) の3系6分野としている。

(2) 経営情報学部に経営情報学科が開設されていない大学

経営情報学部に経営情報学科が開設されていない大学は、表2に示す通り4大学ある。各大学の開設学科名から、直ちに経営情報学部という名称を思い浮かべることは、かなり困難である。

表2 経営情報学部に経営情報学科が開設されていない大学

大 学	設置	学 部	学 科
北海道情報大学	私立	経営情報	先端経営、システム情報
上武大学	私立	経営情報	経営デザイン、メディアマネジメント
城西国際大学	私立	経営情報	総合経営
金沢学院大学	私立	経営情報	経営ビジネス 情報ビジネス (2013年に経営システム)

北海道情報大学経営情報学部 (Faculty of Business Administration and Information Science) の先端経営学科 (Department of Business and Information Systems) ではe-ビジネス、IT起業家、IT戦略、e-会計、サービスマネジメントの5コース、システム情報学科 (Department of Systems and Information) ではシステムデザイン、コンピュータサイエンス、ロボット組み込みシステム、

宇宙情報、観光情報、IT アーキテクトの6コースを設けている。

城西国際大学経営情報学部（Faculty of Management & Information Sciences）の総合経営学科では、企業マネジメント、公共マネジメント、健康・スポーツ・生活マネジメント、情報マネジメントの4コースを設けている。

（3）経営情報学部以外の学部に経営情報（科）学科を開設している大学

経営情報学部以外の学部に経営情報（科）学科を開設している大学は、表3に示す通り13大学ある。経済学部と経営学部がそれぞれ3大学、商学部と情報学部がそれぞれ2大学、その他、産業科学技術学部、情報フロンティア学部、社会システム科学部がそれぞれ1大学である。

表3 経営情報学部以外の学部に経営情報（科）学科を開設している大学

大 学	設置	学 部	学 科
北九州市立大学	公立	経 済	経営情報、経済
北星学園大学	私立	経 済	経営情報、経済、経済法
富士大学	私立	経 済	経営情報、経済、経営法
北海学園大学	私立	経 営	経営情報、経営
朝日大学	私立	経 営	経営情報、経営、ビジネス企画
常葉大学	私立	経 営	経営情報、経営
横浜商科大学	私立	商	経営情報、商、貿易・観光
名古屋学院大学	私立	商	経営情報、商
文教大学	私立	情 報	経営情報、広報、情報システム
長崎総合科学大学	私立	情 報	経営情報、知能情報
倉敷芸術科学大学	私立	産業科学技術	経営情報、観光
金沢工業大学	私立	情報 フロンティア	経営情報、メディア情報 心理情報
千葉工業大学	私立	社会システム 科学	経営情報科学、プロジェクトマネジメント、金融・経営リスク科学

北九州市立大学は経済学部（Faculty of Economics and Business Administration）に経営情報学科（Department of Business Administration）を開設し、「情報社会に対応する、経済のスペシャリストをつくる」とし、経営分野、情報システム分野、会計分野の3分野のカリキュラム構成としている。しかし、英語表記にInformationはなく、一般的には経営学科を表すBusiness Administrationとしている。

北海学園大学は経営学部（Faculty of Business Administration）に経営情報学科（Department of Management Information）を開設し、「会計」「情報」「心理」に関する専門知識とそれを活かす

実践力とを併せ持ち、組織や社会を力強く発展させることができる人材を育成するとし、アカウントティングを学ぶ「会計系」、情報科学を学ぶ「情報系」、人間行動を学ぶ「心理系」の三つの軸を設定してカリキュラムを展開している。その上で、「経営系学部（学科）への心理学の本格的な導入は、日本で初めてであり、きわめて斬新で魅力ある学科である」と記している。

千葉工業大学は社会システム科学部（Faculty of Social Systems Science）に経営情報科学科（Department of Management Information Science）を開設し、「高度情報化社会において、人間の豊かさと地球環境の調和する新製品・新技術開発の発信者として貢献し、21世紀の日本を担う、創造的でバランスのとれた人材の育成を目指し、経営システムに関する幅広い知識を持ったスペシャリストを育成するため、物流・生産システム、リスク管理、経営戦略など、企業の経営とダイレクトに結びつくカリキュラム構成」としている。

（４）経営情報学部・学科の英語表記

表1から表3までに取り上げた大学の経営情報学部や経営情報学科の英語表記について、確認できた範囲内で整理すると、表4となる。

表4 経営情報学部・学科の英語表記

経営情報学部の英語表記	経営情報学科の英語表記
Management Information	Management Information
Management and Information	Management and Information
Management and Information Systems	Management Information Systems
Management and Information Sciences	Management Information Science
Business Administration and Information Science	Management and Information Science
	Business and Information
	Business Administration
	and Information Science
	Business Administration

経営情報の英語表記は、“経営”を表す（Management、Business、Business Administration）のグループからの1つと“情報”を表す（Information、Information System、Information Science）のグループからの1つとの結合構造であり、“直接”結合または“and”結合である。

“経営情報”＝“経営”and“情報”としている学部が多いことから、経営情報学の学問領域をどのように捉えているかは明らかである。情報経営学会の“情報経営”＝“情報”and“経営”も同じ視座にあると考えてよいであろう。

すなわち、経営情報学部・学科の多くが英語表記において、“経営情報”＝“経営”and“情報”としていることから、“経営情報学”＝“経営学”and“情報学”との認識に立って、学科構成やカリキュラム構成を行っていると思われる。静岡県立大学の「経営学と情報学の双方の視点から多面的に学びます」や筑波学院大学の「経営も、情報も。両方学ぶ、けっこう欲張りな学部」という表現がそのことを示している。

“経営情報学”＝“経営学”and“情報学”と表記されるものの、現状の学部・学科構成やカリキュラム構成は、“経営情報学”＝“経営学”or“情報学”に近いと考えてよい。すなわち、

“経営情報学”＝“経営学”∪“情報学”

となっており、非常に広範囲な学問領域を視野に入れている。そこで、

“経営情報学”＝“経営学”∩“情報学”

と示すことのできる経営情報学の核となる理論体系を確立することが、今まさに求められている。

4. 経営情報学部を開設後、改称または改組した大学にみる“経営情報”

経営情報学部を開設後、改称または改組した大学は、表5に示す通り8大学ある。これら8大学は開設後30年を経ることなく、短い大学では10年余で、経営情報学部が改称または改組され、経営情報学部の名称は消えている。さらに、改称・改組後の学部に経営情報学科が残されているのは、経営学部経営情報学科という形で、摂南大学と名古屋商科大学の2大学のみである。また、8大学のうち、5大学の学部名からは情報の文字が消えて、経営系の学部名となっている。2大学からは経営の文字が消え、情報系の学部名となっている。ただ1大学、産業能率大学が情報マネジメント学部と改称され、一見すると経営と情報を入れ替えただけのように見える。しかし、学部の英語表記は、School of Information-Oriented Management であり、Information Management でもなければ、Information and Management でもなく、Management なのである。つまり、学部紹介に「マネジメント力を発揮して社会の様々な分野において活躍する人材を育成することを目的としています。社会人としての基礎力を身につけ、現代のマネジメントに関する知識と技法を修得し、社会の変化に対応しうる幅広い視野と高い見識、マネジメント力と問題解決能力を養い、様々な分野においてマネジメントを実践し活躍する人材を育成します。」とあるように、経営系学部である。ただし、実際にはスポーツマネジメント、マーケティング企画、ビジネスマネジメント、コンテンツビジネス、情報システム、ITコーディネータ、医療・福祉マネジメントの7コース制をとっており、情報系に属するコースも残されていることがわかる。

改称または改組の要因は、各大学によって異なるであろうが、“経営情報学”＝“経営学”∪“情報学”という広範な学問領域では、学部の特徴を出すことが難しく、教育目標の焦点が絞りにくいという課題があったものと推察できる。

表5 経営情報学部を開設後、改称または改組した大学

大 学	設置	学 部 ・ 学 科 の 変 遷
産業能率大学	私立	1979年 経営情報学部経営情報学科を開設（日本初） 2007年 情報マネジメント学部情報マネジメント学科へ改称
摂南大学	私立	1982年 経営情報学部経営情報学科を開設 1993年 経営環境情報学科を増設 2006年 経営環境情報学科学学生募集停止 経営学科を増設 2010年 経営学部へ改称
甲子園大学	私立	1986年 経営情報学部経営情報学科を開設 2004年 現代経営学部へ改称 2006年 現代経営学科へ改称 2011年 募集停止
東京情報大学	私立	1988年 経営情報学部経営学科・情報学科を開設 1996年 情報文化学科を増設 2001年 総合情報学部へ改称 経営情報学科・環境情報学科・情報システム学科 新設 2005年 経営情報学科を情報ビジネス学科へ改称
大阪国際大学	私立	1988年 経営情報学部経営情報学科を開設 2008年 ビジネス学部 経営デザイン学科・経済ファイナンス学科へ改組
大阪経済大学	私立	1991年 経営学部第一部へ経営情報学科を増設 1997年 学部学科を経営情報学部経営情報学科へ改組 2005年 経営情報学部 ビジネス情報学科・ファイナンス学科へ改組 2012年 情報社会学部情報社会学科へ改組
帝塚山大学	私立	1992年 経済学部へ経営情報学科を増設 1997年 経営情報学科を経営情報学部経営情報学科へ改組 2011年 経営学部経営学科へ改称
名古屋商科大学	私立	1984年 商学部へ経営情報学科を増設 2001年 商学部を経営情報学部経営情報学科 と総合経営学部へ改組 2006年 経営情報学部知的財産学科を増設 2012年 経営学部経営学科・経営情報学科（この間の経緯不明）

改称または改組した8大学のうち、6大学が“経営学”にシフトし、2大学が“情報学”にシフトしている事実、および産業能率大学の Information-Oriented Management という表記から、経営情報学は情報重視の経営学と認識した上での改称・改組が多数であったと考えられる。

そこで、本稿では“経営情報学”を

“経営情報学” = “情報を基礎とした経営学” and “経営のための情報学”
と捉えることとする。よって、

“経営情報” = “情報を基礎とした経営” and “経営のための情報”
となる。すなわち、

“経営情報” = “information-based Management” and “Information for management”
と表現できる。

5. 終わりに

コミュニケーションとは情報共有であり、情報システムとは情報活用空間であるとの認識に立ち、経営情報システムの主要軸を

[使命] - (人間) - 〈情報活用〉 - (情報) - [事柄]

とする筆者の経営情報システム認識³の中核には、「経営活動の場における情報の共有と活用」がある。この立場から、

“経営情報学” = “情報を基礎とした経営学” and “経営のための情報学”
を説明するならば、「経営活動の場における情報の共有と活用に関する経営学と情報学からの理論的・実践的研究」が経営情報学であると考えてよい。ただし、ここで注意しなければならないのは、単なる経営学と情報学ではなく、“情報を基礎とした経営学”と“経営のための情報学”が準備されなければならないということである。すなわち、一般的な経営学や情報学を平面の経営学や情報学とするならば、“情報を基礎とした経営学”と“経営のための情報学”は、いずれもが「経営活動の場における情報の共有と活用」を焦点とする凹面（例えば、パラボラアンテナのような放物面）の経営学であり情報学でなければならない。

今回取り上げた学会においても、経営情報学部や学科においても、唯一の焦点を有する完全なる凹面の経営学や情報学を提示しているとは言えないと考える。唯一の焦点を有する凹面の経営学と情報学が構築され、経営活動の場における情報の共有と活用をその焦点に位置付けた時、理想の経営情報学が確立されることになろう。その時が一日も早く訪れることを信じて、若き教育者・研究者にバトンをつなぐこととする。

(いしかわ ひろみち・本学学長)

3 詳しくは、拙著（1997）『情報活用空間の探求』中央経済社、拙著（2001）『経営情報の共有と活用』中央経済社、及び拙著（2002）『経営情報の活用モデル』中央経済社を参照されたい。